

# 第98回 幹事総会報告

2024年度 幹事総会を北畠会館で5月18日(土)に開催した。3月に実施されたケンブリッジ語学研修とコロナ禍で語学研修が中止となった74期卒業生の米国語学研修の内容が西本陽子 校内幹事長(高45期)から報告され、研修に参加した3名の生徒と1名の卒業生から研修で学んだこと等の発表が行われた【P18・P19】。

その後、氏原 徹 総務副委員長(高21期)の開会通告に続いて、西岡 昇会長(高18期)と中山玲代 校長から挨拶があり、会長からは創立100周年記念事業について学校からの追加要望にも応えることができたこと、剰余の寄附金は母校の教育活動の更なる充実に当てる予定であることが報告された。校長からは母校創立100周年での支援が大いに質の高い教育活動につながっていること、入学定員増加にもかかわらず入学倍率が高くなったことの報告があり、物心両面の同窓会からのご支援・ご協力の賜物ですと謝辞があった。

続いて、森 政次 3号幹事(高21期)が出席者の承認を得て議長に就任、会議の成立要件の確認(下表)と成立の報告があり、議事録作成者(松田淳一 書記(高27期))と署名人(上崎 圭 3号幹事(高65期))が指名された。

幹事総会構成員数	268名
定足数	135名
出席者数	57名
委任状(議決権行使書)提出数	121名

## ● 委任状(議決権行使書)の集計結果

	議決権行使者数	承認	不承認	無効
第1号議案	121	121	0	0
第2号議案	121	121	0	0
第3号議案	121	121	0	0
第4号議案	121	121	0	0
第5号議案	121	120	1	0

2023年度事業報告は西岡会長から、収支決算・監査報告は蔵口康裕 会計(高21期)と増田益大 監事(高26期)から、2024年度事業計画は南部高志 副会長(高25期)から、2024年度収支予算は蔵口会計から説明があった。役員改選は風早宣明 指名委員長(高17期)が議長となり、2024年度・2025年度の役員指名案を説明した。いずれも質疑応答後に採決され賛成多数で承認された。その後、創立100周年記念事業報告が八尾隆 副会長(高21期)から、同収支決算・監査報告が蔵口会計と増田監事から、細則改訂と規定の制定、2024年度・2025年度幹事委嘱についての報告

が岡山保美 総務副委員長(高21期)から行われ、すべての議事が終了した。最後に八尾新会長から新任の役員3名が紹介されて閉会となった。

各議案の概要は次の通り。

## ■ 第1号議案：2023年度事業報告

常任幹事会と役員会は、集会とリモートの併用で毎月1回交互開催。役員会では、各委員会の課題共有と100周年記念の追加事業の進捗確認を行い、常任幹事会で課題の検討と審議事項の承認を行った。

2023年度は、住中・住高同窓懇談会や北畠サロン等のイベント開催、vol.72の会報発行とvol.73の発行準備、同窓会ホームページと同窓会公式 Facebook・YouTubeの運用、ケンブリッジ研修生の選考等の例年通りの活動に加えて、100周年記念の追加事業【P4・P5】や指名委員会の活動が行われた。期会やクラブOB・OG会の活動支援策も引き続き運用され、昨年の幹事懇談会で提示された課題や特別会員への個人年会費請求についても適切に対応したことが報告された。会員名簿メンテナンス、北畠会館維持・管理、会員からの問い合わせ対応、学校との連携等も、事務局が各委員会と連携して行った。

## ■ 第2号議案：2023年度決算・監査報告

一般会計では、北畠会館の利用増に伴う会館維持収入は増加したが、年会費を含む収入は予算より減少した。母校の海外研修事業がまだ実施に至っていないことから在校生海外研修補助金が不要であったことと支出全般について縮減に努めた結果、マイナス100万円の収支予算に対してマイナス3万円の赤字に収まった。また、北畠会館修繕積立資産と周年事業準備資産の繰入れ計100万円を行った。なお、不要であるにもかかわらず支払われていたことが判明した特別会員からの年会費は大半がご寄附いただけただの雑収入に振り替えた【P33】。

奨学金特別会計では、円安とインフレの影響でケンブリッジ海外研修費が高騰したこととコロナ禍研修候補者の海外研修補助を行ったことで、給付型奨学金と合わせて540万円を支出した【P18】。

## ■ 第3号議案：2024年度事業計画

常任幹事会・役員会は、いずれかをほぼ毎月1回開催予定。恒例の住中・住高同

窓懇談会は8月に開催予定【P3】、北畠サロンも開催を予定している【P8】。会報はvol.73の発行を予定し、vol.74の準備に取り掛かる。同窓会資料の管理・活用、寄贈美術品等の整理は前年度からの作業を継続し、名簿活用の検討や会員情報不明者の情報収集、幹事の委嘱、同窓会収入増加促進、新奨学金(短期語学留学生・給付型奨学金)選考会、母校との連携等は、各委員会の主導のもと、事務局・他委員会と連携して実施する。

## ■ 第4号議案：2024年度予算

一般会計では、2023年度実績を参考に、年会費収入の予算を減額、8月に実施される同窓懇談会や北畠サロンの収支を計上して策定している。収支予算は昨年度と同様マイナス100万円とした【P33】。

奨学金特別会計では、次年度もケンブリッジ海外研修を実施する予定のため、給付型奨学金と合わせて430万円の奨学金支援金支出を予定している【P18】。

## ■ 第5号議案：2024年度・25年度役員選出

風早指名委員長から、2024年度・2025年度役員指名案が提案された【P2】。会長は、副会長で100周年事業実行委員長の八尾氏が、新任で副会長として井上 誠氏(高25期)、長谷川昌子氏(高25期)、書記として中村和也氏(高59期)が指名された。退任は西岡会長と田中敏則 監事(高18期)、浅井書記が監事に異動、他の役員は再任となった。



■ 第1号報告：100周年記念事業の収支残高1710万円は、住高支援資産として特別会計に繰入られ、住高の更なる飛躍のための教育環境整備支援に充当、委員会を設置して事業内容を決定することが報告された。

## ● 幹事懇親会(茶話会)

総会后、幹事と役員・常任幹事との意見交換を目的とした茶話会が開催され、8グループに分かれて、期会やクラブOB・OG会の活性化策等について、活発に意見交換が行われた。

